

令和4年度 水先コース(一級)入学式 式 辞

海技大学校の桜も満開となり、本日このよき日に、令和4年度海技大学校入学式を挙行できますことは、本校にとりまして大きな喜びであり、教職員を代表し、一言お祝いの言葉を申し上げさせていただきます。

水先コース(一級)第16期修業生の皆様、入学おめでとうございます。

本日より、養成期間8.5ヶ月の一級水先人養成課程が始まります。前半の約4ヶ月は水先区共通教育として海技大学校にて座学・操船シミュレータ訓練等を履修し、後半の約5ヶ月は水先区個別教育として各水先区の水先現場における実践・実務的な訓練を履修することになります。6月中には、国家試験を受験することになりますが、皆様が全員合格し、水先区個別教育に進まれることを祈念しております。

本校には、水先教育センター長をはじめとする優秀な現役水先人のインストラクターが揃っております。また本校の教員、その道のエキスパートである外部講師もお迎えし座学を担当していただきます。大先輩方から、多くの技術を吸収し、また講師陣から様々な知識を吸収して、水先人として基礎を修得されることを期待しております。

海技大学校は、勉学環境に恵まれた国際文化住宅都市である芦屋市にあります。北側には六甲山を仰ぎ見て、南側には茅渚の海と呼ばれる大阪湾を眺望できます。周囲の美しい風景を楽しみながら、本校での学校生活に励んでいただきたいと思います。

海技大学校では、現在、新型コロナウイルス感染予防のため、ガイドラインを作り様々な取り組みを行っています。三密の回避、マスクの着用、手洗い励行を基本として、まず自分が感染しない、他人に感染させない行動を心がけ、何よりも情報の共有に努めていただくよう、ご理解ご協力のほどお願いします。

最後になりますが、水先人という日本海運にとって極めて重要かつ重大な責務を負う業務に携わることを改めて認識していただくとともに、皆様のチャレンジ精神に敬意を表し、自分を信じ、自分で判断し、自分のためにご尽力されることを祈りつつ、本日の式辞とさせていただきます。

令和4年4月6日

独立行政法人海技教育機構 海技大学校長 近藤 宏一